

No.23

ちくまさかき

危険物防火管理協会報



謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご高配を承り、心より感謝申し上げます。

昨年は川上村出身の宇宙飛行士、油井亀美也さんが宇宙へと旅立ち、国際宇宙ステーション（ISS）において宇宙船「クルードラゴン」の一員として2回目の長期滞在をしております。当協会も9月の視察研修で「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を視察し、国際宇宙ステーション（ISS）日本実験棟でもある「きぼう」の実物模型や、日本の最先端技術の粋を集めた小惑星探査機「はやぶさ2」、「H-IIロケット」など、最新の宇宙テクノロジーと未来の宇宙開発について学びました。

また、岐阜県広域防災センターでは、大規模災害体験（VR）、地震体験などの貴重な経験をしました。

（関連記事3頁）

千曲坂城危険物防火管理協会

発行日 令和8年1月 発行人 柳澤 謙二 発行 千曲坂城危険物防火管理協会

編集 千曲坂城消防本部 予防課 危険物係内（協会事務局）

千曲市大字磯部 1221 TEL 026-276-0119 FAX 026-276-9119

E-mail: cs-kbk@fdcs.or.jp



会長あいさつ

千曲坂城危険物防火管理協会

会長 柳澤謙二



令和8年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
会員の皆様におかれましては、日頃から危険物に係る防災思想の普及、啓発ならびに危険物取扱技術の向上に積極的に取り組まれ、危険物事故の発生防止に大きく貢献されておりますことに対し、改めて心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、今年の夏は日本各地で記録的な猛暑となり、気候変動が私たちの暮らしに直結していることを改めて感じさせられました。温暖化は、農業にも影響を及ぼし米の高騰化や、食品の安定供給不安にも広がり、物価高が過去最高を記録しました。

また、自然災害が相次いで列島を襲っています。2月の初めには北海道帯広で、12時間で120cmという国内で観測したことの無い降雪量を記録。また、岩手県大船渡市で山林火災が発生し、3千ヘクタール近くが焼失し、平成以降では国内最大規模の山林火災となりました。地震も各地で頻繁に発生しています。気象庁は静岡県から宮城県に至る南海トラフ地震の震源域で巨大地震が発生する可能性が高まっているとして、「南海トラフ地震臨時情報」を初めて発表し、長野県を含め29都府県707市町村が「地震防災対策推進地域」として指定されました。今後、30年以内に70%～80%の確率で地震が発生すると予測されています。

しかしながら自然災害を未然に防ぐことは不可能ではありますが、被害を最小限に抑えるための備えはできると思います。

今後、自然災害に対する取り組みをなお一層強化していくことが重要であり、行政との連携や地域社会との密着を会員の皆様と共に図っていくことが、今まで以上に必要不可欠となります。

本年も、従来通り危険物取扱者保安講習や視察研修、普通救命講習、防災訓練などを開催し、多岐に渡る技術の取得、知識の向上に努めてまいります。

皆様には引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年は野球のWBC開催、イタリアのミラノ・コルティナ冬期オリンピック、サッカーワールドカップと世界的イベントが目白押しです。日本人の大活躍を期待しつつ、会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

令和7年度 通常総会開催



令和 7 年度の通常総会が、5 月 16 日（金）に千曲市総合観光会館において開催されました。昨年度事業、決算等及び令和 7 年度事業、予算等が承認されました。また、今年度は役員改選が行われ、会長に柳澤謙二様（柳屋商事株）、副会長に峯村崇様（株峰村電気商会）、新副会長に宮川学様（有）ホテル梅むら）が就任されました。他の役員の皆様も概ね再任され、協会のさらなる

結束が期待されます。なお、これまで協会の発展にご尽力いただきました前副会長小平正和様（有）中央ホテル）には会員一同心よりご慰労を申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援をお願いする次第です。

また、通常総会の席上において永年にわたり危険物の取扱いに関して功績のあった優良事業所と優良危険物取扱者に当協会長表彰が行われるとともに、関東甲信越地区及び県表彰の伝達を行いました。

令和7年度 受賞者

●関東甲信越地区危険物安全協会連合会長表彰

【優良事業所】

日酸 TANAKA 株式会社 長野工場 様

●長野県危険物安全協会会長表彰

【優良事業所】

多世代健康交流プラザ つるの湯 様
株式会社 ミライ化成 様

【優良取扱者】

小林 悠司 様 「長野石油輸送株式会社」
関口 利治 様 「株式会社 SKY エナジー戸倉セルフ SS」
藤澤 拓夫 様 「日精樹脂工業株式会社」
白川 和 様 「日精樹脂工業株式会社」



●千曲坂城危険物防火管理協会会長表彰

【優良事業所表彰】

有限会社 西村石油 様
JA ちくま パリオサービスステーション 様

【優良危険物取扱者】

関 伸貴 様 「ENEOS 株式会社 北信油槽所」
坂下 卓也 様 「株式会社 竹内製作所 戸倉工場」
志野 誠 様 「渡辺商事株式会社 ENEOS 戸倉上山田給油所」
河瀬 裕忠 様 「株式会社 青木固研究所」
柄澤 英俊 様 「長野電子工業株式会社」
小田 祐次 様 「長野電子工業株式会社」



危険物防火管理協会視察研修

9月4日、5日に岐阜県「岐阜県広域防災センター」「岐阜城」「かかみがはら宇宙航空博物館」への視察研修が行われました。



難攻不落の岐阜城前で

防災センターでの研修



恐怖を感じるほどのリアルな地震体験



日本初となる有人宇宙実験施設「きぼう」の実寸大模型

VRで大規模災害を体験



岐阜県広域防災センター前で



煙で見えなくなる怖さを体験しました

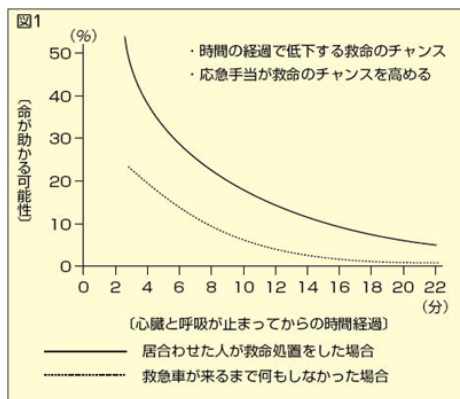


各務原で航空機産業の始まりとなった飛行機



「応急手当のできる店・事業所」普通救命講習会を開催

10 月 15、16 日の 2 日間で行われ、40 名(28 事業所)の会員の方が受講されました。



左記のグラフは生命曲線といい、実線は救命処置が行われた場合の救命効果、下の点線は現場に到着した救急隊員による救命処置が行われた場合を示しています。時間経過と共に救命率は低下していきませんが、その場に居合わせた方が救命処置を行った場合、命が助かる可能性は上がります。

下の図は、傷病者の命を救い、社会復帰に導くための「救命の連鎖」といいます。この連鎖は4つの重要な段階から成り立っており、これらが途切れることなく迅速に繋がることで救命効果が大幅に高まります。

2つ目の輪（紫）と3つ目の輪（赤）を繋げることができるのは居合わせた私たちです。この救命講習は毎年実施していますので、ぜひ受講してください。



普通救命講習を受講して

株式会社 アルプスツール
青木 友宏

私が最初に救命講習を受けたのは10年以上前のことなので、改めて講習を受けてきちんとしたやり方を学ぼうと思い、今回受講しました。

まず座学で一次救命処置の重要性を学びました。AEDの有無で生存率や社会復帰率が大きく異なることに驚き、さらに1分経過するごとにその値が大きく下がっていくことに衝撃を受けました。迅速な対応とAEDの重要性についてもっと周知が必要だと感じました。

次に実技講習を受け、胸骨圧迫やAEDの使用方法を繰り返し学びました。使用時の注意点や疑問など指導員の方から救命現場での実例を交えた指導をいただき、とてもわかりやすかったです。

今回の講習を受けたことで、いざという時目の前の命を救うためには救急車や救命士だけでなく、すぐそばにいる私たちが冷静に、迅速に、勇気をもって行動することで「救命の輪」を繋いでいくことができると改めて認識することができました。



甲種防火管理資格取得講習開催

令和7年 6 月4日・5日(千曲市更埴文化会館)と 11 月 27 日・28 日
(千曲坂城消防本部)の 2 回開催され、計 62 名の方が受講されました。

令和 6 年中(1 月～12 月)全国での総出火件数は 37,036 件でした。これは、平均すると
1 日あたり約 102 件、約 14 分ごとに 1 件の火災が発生していたことになります。また、出火原因として多い順に
「たばこ」「たき火」「コンロ」と人的要因での発生が続きます。この数字を見てどう思うでしょうか？

火災は自らの力で防ぐことのできる災害です。火災の発生を予防し、万が一火災が発生しても被害を最小限にとどめるための対策を立て、実行することが大切です。防火管理者は、消防設備の点検や訓練、従業員への防火教育の実施等積極的に実施するよう心掛けてください。



火気管理
避難経路の確保
災害時の各任務



変形・破損の有無
製造年月日の確認



障害物はないか
扉は開閉できるか
変形・破損はないか
使い方の確認

少量危険物施設・LP ガス施設巡回指導実施

長野県 LP 協会長野支部及び千曲坂城消防本部と共催し、7 月 1 日の国民安全の日に合わせて、一般家庭を対象とした少量危険物施設及び LP ガス施設の巡回指導を千曲市三本木地区で行いました。

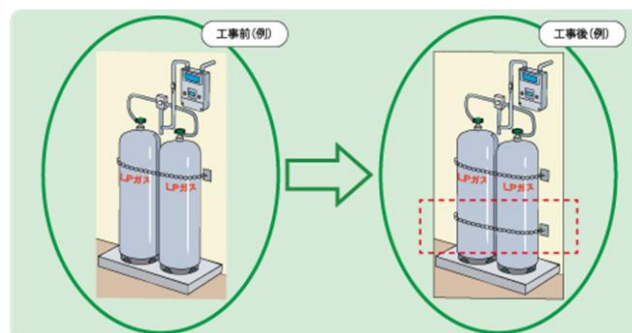
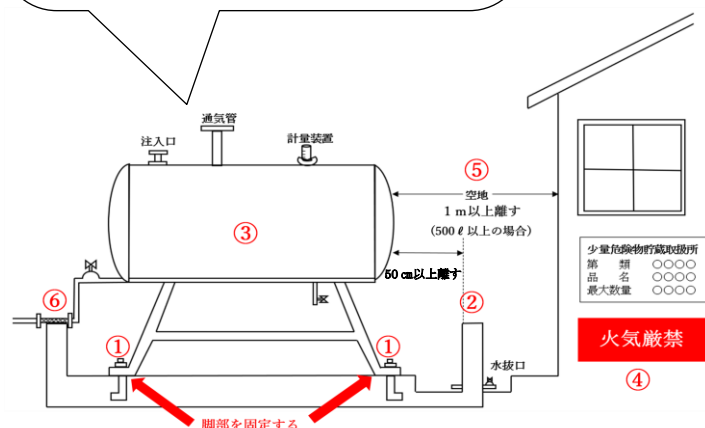
今回巡回した三本木地区や千曲川周辺地区はハザードマップでみると想定浸水深が 5.0mを超えると想定されています。豪雨による浸水等で危険物が流出すると水道水源汚染などの 2 次災害が発生する恐れがあります。こうした被害を最小限に抑えるためにも下記の安全対策の実施をお願いいたします。

【灯油タンクの安全措置】

- ①脚部の固定
- ②流出防止の防油堤
- ③さび止め
- ④標識・掲示板の設置(200ℓ 以上)
- ⑤空地の確保
- ⑥配管に緩衝装置を設ける

【LP ガス容器の安全対策】

「1m以上の浸水が想定される地域で 20 kg を超える容器にはベルトまたは鎖を 2 本以上かけること」
これによって洪水浸水災害の際に LP ガス容器の流出を防ぐことができます。



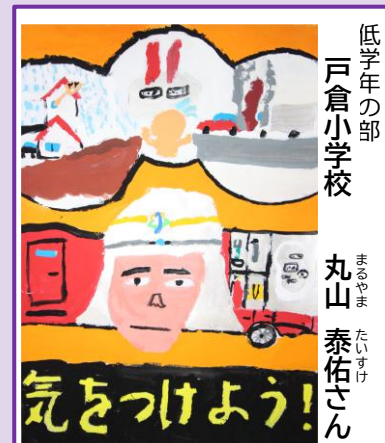
第 46 回 千曲坂城消防本部防火ポスター 最終審査

当協会が協賛しております千曲坂城消防本部防火ポスターの最終審査が、令和 7 年 9 月 25 日千曲坂城消防本部会議室にて開催され、千曲市と坂城町の小学校、保育園、幼稚園から 225 点の作品が提出されました。最終審査は柳澤会長も参加し、優秀賞(千曲坂城危険物防火管理協会長賞)の審査を行っていただきました。各賞の入選作品は以下の通りとなります。入選された小学生に記念品を、参加していただいた保育園、幼稚園に紙芝居を贈呈しました。

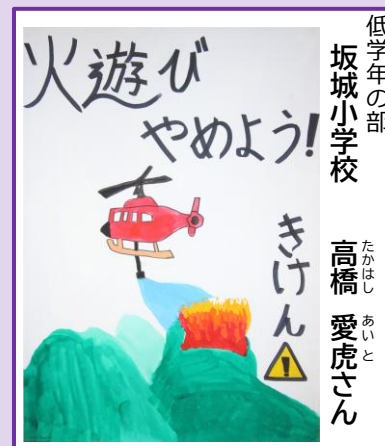
～千曲坂城危険物防火管理協会長表彰の作品(優秀賞)～



～消防長賞の作品(最優秀賞)～



～千曲坂城幼少年婦人防火委員会賞(優秀賞)～



株式会社 栗林製作所

株式会社栗林製作所は、1944 年の創業以来、坂城町にてベアリング部品や自動車部品の製造を通じて、日本の産業を支えてまいりました。創業当初は噴霧器（スプレー）、散粉器（ダスター）などの家庭用金物雑貨品の製造販売から始まり、1960 年代からは、ベアリング部品加工へ大きく転換を図り、温間鍛造の量産化に成功するなど、自動車産業の発展に伴い事業を拡大してきました。2009 年には日本精工株式会社（NSK）グループの一員となり、グローバルな供給体制を確立し、現在では世界品質のベアリング部品を提供しております。

こうした歴史の中で、私たちは「安全最優先」「品質第一」を企業理念として掲げ、80 年以上にわたり技術革新と信頼の積み重ねを続けております。また、地域の防災訓練や普通救命講習などの講習会への参加を通じて、社員一人ひとりが防災訓練意識を高める取り組みを継続しています。

今後も、千曲坂城危険物防火管理協会様や会員の皆様との連携をさらに深め、災害に強い地域づくりに貢献してまいります。安全・安心な社会の実現に向け、企業としてできることを全力で取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



多世代健康交流プラザ つるの湯

つるの湯は、1903 年頃開湯した上山田温泉の共同浴場の 1 つで、2001 年に現在の地に開業した温泉施設です。

泉質はアルカリ性単純硫黄温泉で、源泉温度は 46 度、完全な「源泉かけ流し」の共同浴場となっております。

おかげさまで「気持ちの良いお風呂でした。」という声を多く頂戴しております。また、地元のお客様をはじめとし、県内外から多くのお客様がお越しくださっています。

今後も戸倉上山田温泉を盛り上げていくために微力ではありますが、地域の皆様と協力していきたいと考えております。

皆様にさらに来場していただけるようイベントの実施や特産物の販売にも力を入れていきたいと考えております。

また、弊社では長野県内に「つるの湯」の他にも同じ千曲市内に「竹林の湯」、安曇野市には「しゃくなげの湯」を運営しており、こちらも来場者の皆様に大変喜ばれております。

この 3 施設とも力を合わせていきたいと思っております。

最後になりますが、今後も引き続き千曲坂城危険物防火管理協会様、並びに会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜り、地域貢献に努めて参りたいと考えております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



事業所訪問です！
今回は
(株)栗林製作所
つるの湯
を紹介します。

